



早いスピードで進行する高齢化に対応するため、在宅福祉サービスの強化や健康づくり対策の充実を図る。写真はホームヘルプサービス。



放流事業などによる作り育てる漁業を推進。写真はアワビの中間育成（川尻）

ルマエビの放流、アワビの中間育成など栽培漁業の振興、増養殖漁場の造成、海底清掃による漁場保全などにより、作り育てる漁業を推進しながら、第九次漁港整備計画に基づき津黄漁港の修築、久津・大浦漁港の改修、平成八年度より新たに伊上漁港の局部改良事業に着手する考えです。なお、津黄漁港関連道整備事業については、平成八年度

3、安全でうるおいのある暮らしやすいまちづくり

◆福祉・保健衛生

昨年十月一日現在で行われた国勢調査によると本町の人口は、九、〇一八人で、前回の平成二年度に対し八七・七、一％の減となっており、また、高齢人口も二八％で今後とも過疎化・高齢化は進むものと認識をしています。

高齢者のみなさんは住み慣れた家庭や地域で暮らすことを望んでおり、そのためには地域の一員として様々な活動に参加しながら、健康で自分の生活を楽しむことができる生活環境を造り出すことが最も重要です。福祉対策を強化し道路など生

で全線完了する計画です。

◆商工観光

商工観光の振興については、商工会の育成強化に努めるとともに、平成八年度には農村総合整備モデル事業の一環として、小田大浜海岸の駐車場、トイレ、炊飯棟などの施設を整備する計画であり、既設の観光施設と合

わせて観光客の誘致を積極的に進めていく考えです。

活関連施設の整備を進め、健やかでやすらぎのある町づくりを進めなければならないと考えています。

福祉施策の推進については、社会福祉協議会の体質を強化し、ホームヘルパーの増員などにより、在宅福祉サービスの拡充を図りながら、関係団体とより一層の連携のもと、地域ぐるみによる福祉の環境づくりや幅広いボランティア活動の振興をおし進め、「心のかよう福祉社会」の実現に向けて努力します。

健康づくり対策については町民の関心も高く、基本健康診査、がん検診や健康指導など、保健婦を中心に積極的に進めていく



考えです。

合併処理浄化槽

補助金を実施

かねてから要望のありました合併処理浄化槽の設置補助については、将来下水道など設置計画地域以外の地域において平成八年度より実施する考えです。

(関連記事10ページ)

また、ごみの排出量は年々増加の傾向にあり処理費も増大していますが、ごみの減量と再利用を強力におし進めるため、町民各位の認識と、婦人会・老人クラブなどに格別の協力をお願いするところです。

美しい川や海を守るためには、合併処理浄化槽は最も有効な手段のひとつです。